日本建設機械化協会
J.C.M.A.

建設の機械化

1980 年 5 月号　No. 363

＊事業報告特集＊

目　　次

□巻頭言　大きいことは良いことか……石上立夫／1

□社団法人日本建設機械化協会の事業活動
社団法人日本建設機械化協会定款……／3
各部会・専門部会・建設機械化研究所の動き……／5

□昭和 55 年度官公庁の事業概要（その1）
建設省関係予算の特色……松浦隆康／18

中国における水力発電計画……飯島滋／25

スリランカの水資源開発……二宮嘉弘／31

波力発電実証プラント「海明」の開発……大野健一・萩原良樹／36

グラビヤ――波力発電船「海明」

エアクッション工法による大容量タンク移設工事の実績……塚本見一／42

土被りの深い長距離限定圧気シールドの工事概要――東京都下水道局第二練馬幹線工事……佐藤治／47

根入れ式鋼板セル工法の開発……梶岡保夫・中山種清・荻野秀雄／54

□随　想　年相応に思うこと……佐藤友光／58

□部会研究報告
油圧ショベルの操作性に関する実態調査報告
……機械技術部会ショベル技術委員会／61

□新機種ニュース……調査部会／65

□整備技術
機械マネージャの任務と使命（4）……整備技術部会／71

□ISO 規格紹介
土工機械の性能試験方法に関する ISO 標準規格（3）…ISO 部会／73

□統　計
建設工事受注額・建設機械受注額・建設機械卸売価格の推移
……調査部会／75

行事一覧……／76

編集後記……（立花・佐藤）／78

◀表紙写真説明▶

三菱パワーショベル MS 230-3
三菱重工業株式会社

油圧ショベルによる施工の発達によりユーザニーズは大型化，高効率化を望む一方，狭隘地の作業性についてもより要求が強まっている。本機は 23 t の車格，直噴エンジンの採用等により経済性を向上し，大規模工事に威力を発揮する。また都市土木においても大型バケットと強力な掘削力とともに小回りがきくので施工能率の向上が計れる。なお油圧機器，構造物の改良により耐久性が向上し，かつ最新型キャブ，低騒音化など運転環境を重視した構造となっている。

＜主な仕様＞

バケット容量……0.7～1.1 m³（標準 0.9 m³）
全装備重量……23,000 kg
エンジン出力……137 PS/1,600 rpm
最大掘削深さ……6,590 mm
最大掘削高さ……8,950 mm
最大掘削半径……9,810 mm
最大垂直掘り深さ……4,920 mm